周術期等の出血性・血栓性リスク管理において休止を考慮する医薬品と推奨休薬期間

	一般名	主な商品名	術前休薬期間		
抗凝固薬	**アピキサバン**	エリキュース	出血低リスク†1⇒1日 出血中～高リスク†2⇒2日		
	エドキサバン	リクシアナ	1日		
	ダビガトラン	プラザキサ	Ccr	出血リスク(Standard)	出血リスク(High)†3
			≧50	1日	2～4日
			＜50	2日	4日
	リバーロキサバン	イグザレルト	1日		
	ワルファリン	ワーファリン	3～5日		
抗血小板薬	**アスピリン**	バイアスピリン/ バファリン/タケルダ	7～14日		
	イコサペント酸エチル	エパデール/ロトリガ/ EPA・DHA含有健康食品	7日		
	クロピドグレル	プラビックス/ コンプラビン	7～14日		
	サルポグレラート	アンプラーグ	1日		
	シロスタゾール	プレタール	3日		
	チカグレロル	ブリリンタ	5日		
	チクロピジン	パナルジン/ ニチステート	7～14日		
	プラスグレル	エフィエント	14日		
	ベラプロスト	プロサイリン/ ドルナー	1日		
抗血小板作用を有する薬剤	イフェンプロジル	セロクラール	1～2日		
	ジピリダモール	ペルサンチン	1～2日		
	ジラゼプ	コメリアンコーワ	2～3日		
	ニセリトロール	ペリシット	1日		
	リマプロスト	オパルモン	1日		
SERM・EE製剤	バゼドキシフェン	ビビアント	3日		
	ラロキシフェン	エビスタ	3日		
	エチニルエストラジオール（EE）製剤	アンジュ/オーソ/ ヤーズ/ルナベル	28日		

†1：出血低リスク：内視鏡的生検、前立腺・膀胱の生検、上室性頻脈に対する電気生理学的検査またはカテーテルアブレーション（単回経中隔穿刺による左側アウレーションを含む）、血管造影、ペースメーカー・ICD植え込み術（うっ血性心不全のような複雑な解剖学的な状態がない場合）
†2：出血高リスク：左側の複雑なアブレーション（肺静脈隔離術、心室頻脈）、脊髄麻酔、硬膜外麻酔、腰椎穿刺（診断目的）、胸部手術、腹部手術、整形外科の大手術、肝生検、経尿道的前立腺切除術、腎生検
†3：出血リスク（High）：完全な止血機能を要する大手術（例：心臓外科手術、脳外科手術、腹部手術、重要臓器に関連する手術）、腰椎麻酔など。また、高齢、合併症、抗血小板剤の併用など出血リスクの高い患者の手術。

※一般名は簡略して表記してあります。また、一般名に該当する商品名を全て表記してありませんので、内容が不明確な医薬品がある等の際は薬剤部へお問い合せください。
※休薬関連同意書（出血助長作用のある薬の中断・継続）の対象となる医薬品は、上記一般名において下線の付いた医薬品です。
※当表の休薬期間は目安ですので、患者個々に対して適切な対応をお願い致します。

2019年10月1日改訂【第2版】

済生会横浜市東部病院
患者支援センター 作成
医療安全管理室・薬剤部 監修